

(様式第1号)

年 月 日

世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会長 様

所在地
名称
代表者職氏名

世界農業遺産「清流長良川の恵みの逸品」認定（継続）申請書

世界農業遺産「清流長良川の恵みの逸品」認定制度実施要領第7条第1項（第11条第1項）の規定により、関係書類を添えて、世界農業遺産「清流長良川の恵みの逸品」の認定（継続）を申請します。

<申請者の概要>

概 要	設立年月日			
	U R L			
	業 種	※日本標準産業分類の中分類を参考に記入		
	事業内容			
	主要商品			
	主要取引先			
認定地域内の施設等	施設名称： 住所：			
申請商品の取扱い状況	※生産、製造、加工、販売のいずれかを記入すること			
営業禁止、営業停止等法令による処分の有無	無 ・ 有 （内容： 時期： ）			
担当者	所属・役職		ふりがな 氏 名	
	電 話		電子メール	

< 1 申請商品の概要 >

商品名等	商品名			
	名称	※一般的な名称のこと		
	小売価格（税込／単位）	円/単位	販売開始時期	年
	数量（内容量）		賞味期限 （消費期限）	
	商品の概要（外観、食味、機能）とキャッチコピー			
シリーズ商品	<p>※申請商品と色違いや味のバリエーションなど、同じシリーズの商品群として、認定を希望する商品があれば記載</p> <p>（例）鮎菓子の場合：味のバリエーションごとに記載</p> <p>パスタの場合：原材料が同じでも形状の異なるものをそれぞれ記載</p> <p>料理の場合：コースの場合は、当コースを構成する各料理を記載</p> <p>コースでなくても、各事業者等が取り扱う一連の鮎料理を一括登録する場合は、それらの各料理を記載</p>			

< 2 加工食品の仕様> ※一次産品は記載不要

製品名			
内容量			
賞味期間	日間		
使用原料 〔食品添加物も記入すること〕	原料名	原産地 (原産国・都道府県名・県内の場合は市町村名)	配合率 (重量の割合)
		※別紙にて添付も可	
遺伝子組換原料	有・無 有の場合：原料名 ()		
アレルギー起因原料の使用有無	有・無 ※表示が義務づけられたもの：えび、かに、小麦、そば、卵、乳、落花生 有の場合：原料名 ()		
保存方法			
包装方法等	※包装材の材質や真空パック、レトルトパウチ食品等包装に係る事項を記載すること		
特定マークの有無	1 JAS 2 有機JAS 3 特定JAS 4 トクホ 5 その他 ()		

< 3 申請商品の特徴（認定基準との適合性） >

(1) 商品の情報発信に積極的で商品及び世界農業遺産「清流長良川の鮎」のブランド力向上に意欲があるか
■消費者や取引先等に対しての広報宣伝の取組み、意欲
■世界農業遺産「清流長良川の鮎」の認知度及びイメージの向上につながる取組み、意欲
■ホームページや SNS 等を活用した情報発信の取組み
(2) 消費者等に対し、誠実で責任のある対応が迅速かつ的確にできるか
■消費者からの苦情・要望・問合せ等に対応できる体制、危機管理体制
・担当者の設置 有 ・ 無
・クレーム発生時の対応（対応マニュアル等） 有 ・ 無
【発生時の対応】

(3) 商品に長良川の自然、歴史、伝統、文化的背景や長良川のイメージと結びつける物語性があり、長良川の恩恵を受け育まれた商品であるか

■商品コンセプト（長良川流域の自然、歴史、伝統、文化的背景との関わりなど）

■原材料、生産（製造）技術などのこだわり、独自の工夫（認定地域内の原材料の積極的活用など）

(4) 商品に独自性及び優位性があるか

■食味、機能、デザイン、ネーミング、ラベル、パッケージ等のセールスポイント

■商品の認知度を裏付ける客観的な事実（マスメディア等の実績等）

(5) 将来にわたり持続的な生産又は製造が可能であり、安定供給が可能であるか					
販売時期	※いずれかにレ印を付けてください <input type="checkbox"/> 通年供給可 <input type="checkbox"/> 季節供給 (月～ 月)				
生産体制	従事者 人		出荷可能な 数量	/日	
生産・ 販売実績	1年前	生産量		販売額	万円
	2年前	生産量		販売額	万円
	3年前	生産量		販売額	万円
■商品の主な販売先 (購入できるところ)					
(県内)			(県外)		
■商品の取引実績等					
■生産、製造量の安定 (拡大)、技術継承 (研修、後継者育成等) のための取組み					

(6) 消費者の安心感・信頼感を確保する取組みがなされているか

■衛生管理、法令・社内規定違反等の発生を防止する体制、消費者の信頼性を確保する取組み

■安全・安心取組認証の取得、または取得した原材料の使用、環境に配慮した原材料の使用、製造方法等

■生産・管理方法

※食品の場合、原材料調達、加工、製造等の流れを記載

< 4 商品画像等 >

商品画像	※正面からの写真、食品の場合は表示ラベルの拡大写真
ロゴマーク等 使用イメージ	※ロゴマーク貼付部を図示 ※世界農業遺産「清流長良川の鮎」の表示イメージを必ず記載すること

< 5 添付資料 >

- ・商品パンフレット等がある場合は、一式添付してください。

(様式第2号)

誓約書

世界農業遺産「清流長良川の恵みの逸品」の認定を受けるにあたり、次の事項について誓約します。

- 1 申請した商品が、認定地域で生まれ、世界農業遺産の保全・活用・継承に資する商品であること
- 2 申請した商品が、関係法令や公序良俗に違反しないこと
- 3 申請した商品が、第三者の知的財産権を侵害していないこと
- 4 申請した商品が認定を受けた場合、その生産・製造、販売等を通じて、世界農業遺産「清流長良川の鮎」の価値の向上に協力すること
- 5 申請した商品が認定を受けた場合、商品の品質、生産、販売等に関する事故や、知的財産に係る権利に関する問題等が生じたときは、当方がその責任を負い、適正に対処すること

年 月 日

世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会長 様

所在地
名称
代表者職氏名

(様式第3号)

年 月 日

世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会長 様

所在地
名称
代表者職氏名

世界農業遺産「清流長良川の恵みの逸品」実績報告書

世界農業遺産「清流長良川の恵みの逸品」認定制度実施要領第13条第2項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

商品名	
認定商品の年間生産量 ・販売量の実績	
認定商品の年間販売額	円
広告宣伝、取材、販路拡大、物産展出展等の実績	
ロゴマーク等の表示状況	

※ ロゴマーク等貼付部の写真を添付すること。

特記事項

--

担当者	所属・役職		ふりがな 氏名	
	電話		電子メール	

(様式第4号)

年 月 日

世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会長 様

所 在 地
名 称
代表者職氏名

世界農業遺産「清流長良川の恵みの逸品」事故等報告書

世界農業遺産「清流長良川の恵みの逸品」認定制度実施要領第13条第6項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

商品名		
認定事業者等	住所（所在地）	
	氏名 （事業者名）	
事故等の内容		
処理結果		
再発防止策		

担当者	所属・役職		ふりがな 氏 名	
	電 話		電子メール	

(様式第5号)

年 月 日

世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会長 様

所在地
名称
代表者職氏名

世界農業遺産「清流長良川の恵みの逸品」の認定廃止・変更等届出書

年 月 日付け第 号による認定通知のあった標記商品について、下記のとおり（廃止・変更）したいので、関係書類を添えて届出ます。

記

届出の内容

1 商品名

2 理由

3 予定年月日

年 月 日から

(※以下、変更の場合のみ記載)

4 変更事項

変更事項	新	旧

5 添付書類

※変更事項の詳細が分かる資料

担当者	所属・役職		ふりがな 氏名	
	電話		電子メール	

(様式第6号)

年 月 日

世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会長 様

所 在 地
名 称
代表者職氏名

世界農業遺産「清流長良川の恵みの逸品」のシリーズ商品届出書

年 月 日付け第 号による認定通知のあった標記商品について、下記のとおりシリーズ商品に「清流長良川の恵みの逸品」の表示をしたいので、関係書類を添えて届出ます。

記

届出の内容

1 認定を受けた商品名

2 シリーズ商品の名称

3 シリーズ商品の説明

4 予定年月日

年 月 日から

5 添付書類

※シリーズ商品の詳細が分かる資料

担当者	所属・役職		ふりがな 氏名	
	電話		電子メール	